

様式1(主な取組)

「主な取組」検証票

| | | | | |
|----------|--|-------------|---------|------------------------|
| 施策展開 | 3-(2)-エ | 観光客の受入体制の整備 | 施策 | ① 交通基盤の整備による観光客の移動の円滑化 |
| | | | 施策の小項目名 | ○空のゲート機能充実 |
| 主な取組 | 那覇空港旅客ターミナルビルの整備 | | | |
| 対応する主な課題 | ①空の玄関口である那覇空港については、観光客の増大に対応できるよう那覇空港の滑走路増設、国内・海外誘客を強化するための旅客ターミナルの拡充が大きな課題となっている。 | | | |

1 取組の概要 (Plan)

| 取組内容 | | 年度別計画 | | | | |
|---|-------------------------|-----------|-----|----|----|----|
| | | H29 | H30 | R元 | R2 | R3 |
| 沖縄の地域経済を支える観光需要に対応し離島住民を含む県民活動の要となる那覇空港の利便性向上に向け、国際線および国内線の旅客ターミナルを連結する施設を整備し、旅客ターミナル施設を一体化する。また、近年の国際線利用客の急増に対応すべく、C I Qおよび周辺施設の増築を行う。 | | | | | | |
| 実施主体 | 那覇空港、ビルディング(株)、国 | ターミナル連結整備 | | | | |
| 担当部課【連絡先】 | 企画部交通政策課 【098-866-2045】 | | | | | |
| | | C I Q施設増築 | | | | |

2 取組の状況 (Do)

(1) 取組の進捗状況 (単位：千円)

| 予算事業名 際内連結ターミナル施設整備 | | | | | | | R4年度 | | 令和3年度活動内容と令和4年度活動計画 | |
|---------------------|------|-----------------------|-----------------------|-----------------------|-------------|---------------|-------|------|---------------------|--|
| 主な財源 | 実施方法 | H29年度 決算額 | H30年度 決算額 | R元年度 決算額 | R2年度 決算額 | R3年度 決算見込額 | 当初予算額 | 主な財源 | OR3年度：－ | |
| | その他 | 那覇空港 ビルディング (株) | 那覇空港 ビルディング (株) | 那覇空港 ビルディング (株) | － | － | － | | OR4年度：－ | |

| 予算事業名 C I Q施設増築 | | | | | | | R4年度 | | 令和3年度活動内容と令和4年度活動計画 | |
|-----------------|------|--------------|--------------|-----------------------------|-----------------------------|---------------|-------|------|---------------------|--|
| 主な財源 | 実施方法 | H29年度 決算額 | H30年度 決算額 | R元年度 決算額 | R2年度 決算額 | R3年度 決算見込額 | 当初予算額 | 主な財源 | OR3年度：－ | |
| | その他 | － | － | 国・ 那覇空港 ビルディング (株) | 国・ 那覇空港 ビルディング (株) | － | － | | OR4年度：－ | |

様式1(主な取組)

| 活動指標名 | ターミナル連結整備 | | | | R3年度 | | | R3年度 決算見込 額合計 | 進捗状況 | 活動概要 |
|--|-----------|-------|------|------|--------|--------|-------------|--|------|---|
| 実績値 | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | 実績値(A) | 目標値(B) | 達成割合 A/B | | | |
| | — | — | — | — | — | — | 100.0% | 0 | 順調 | <p>際内連結ターミナル施設の整備が円滑に進捗するよう関係者と協力して取り組み、平成31年3月に供用を開始した。</p> <p>また、C I Q施設の増築および周辺関連施設の整備についても、円滑に進捗するよう関係者と協力して取り組み、令和2年11月に完成した。</p> |
| 活動指標名 | C I Q施設増築 | | | | R3年度 | | | | | |
| 実績値 | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | 実績値(A) | 目標値(B) | 達成割合 A/B | | | |
| | — | — | — | — | — | — | 100.0% | | | 進捗状況の判定根拠、要因及び取組の効果 |
| 活動指標名 | | | | | R3年度 | | | | | |
| 実績値 | H29年度 | H30年度 | R元年度 | R2年度 | 実績値(A) | 目標値(B) | 達成割合 A/B | | | <p>際内連結ターミナルの供用開始により、国際線・国内線の施設が連結されたとともに、これまで専用バス移動が必要だった貨物地区の暫定ターミナルからL C C便が移転し、国際線・国内線・L C Cを含めた全ての定期便が一体化したターミナル施設を発着することとなり、利便性が飛躍的に向上した。</p> <p>また、C I Q施設の増築および関連施設の整備も順調に進捗し、令和2年11月に完成した。</p> |
| | | | | | | | | | | |
| (2)これまでの改善案の反映状況 | | | | | | | | | | |
| 令和3年度の取組改善案 | | | | | | | | 反映状況 | | |
| <p>・国が策定する「那覇空港ターミナル地域整備基本計画」について、将来的に増大する航空需要を的確に予測しターミナル施設の拡張等を盛り込むなど、民航エリアの拡張に向けた計画の改定に係る協議を、引き続き国と行っていく。</p> | | | | | | | | <p>ターミナル施設の拡張や新たな課題について、国や関係機関と意見交換を行うなど、ターミナル施設のサービス向上および機能強化に向けた取り組みを推進した。</p> | | |



様式1(主な取組)

3 取組の検証 (Check)

(1) 推進上の留意点 (内部要因、外部環境の変化)

○内部要因

・ 際内連結ターミナルの供用およびC I Q増設施設及び周辺施設の完成によって、処理能力や空港サービスが向上し、国際線の旅客の受入体制が強化された。

○外部環境の変化

・ 新型コロナウイルス感染症の再拡大や変異株の流行によって、航空需要が落ち込み、那覇空港の利用旅客数が大幅に減少した。
・ 国際線においては、入国制限措置等によって2020年3月24日以降全便運休となっている。

(2) 改善余地の検証 (取組の効果の更なる向上の視点)

・ 那覇空港のターミナル等については、国が策定する「那覇空港ターミナル地域整備基本計画」に基づき事業を展開していくこととなるが、第2滑走路の供用に伴う発着回数の増加や駐機場の不足に加え、新型コロナウイルス感染症の収束後、将来的に予測を上回る航空需要の拡大により民航エリアの急激な狭隘化が見込まれることから、基本計画の見直しについて、引き続き国と協議を行っていく必要がある。
・ 新型コロナウイルス感染症収束後の利用拡大を見据えて、高度な保安機器などC I Q設備の導入を促進し、C I Qにおける処理能力の向上を図る必要がある。

4 取組の改善案 (Action)

・ 国が策定する「那覇空港ターミナル地域整備基本計画」について、将来的に増大する航空需要を的確に予測し、ターミナル施設の拡張等を盛り込むなど、民航エリアの拡張に向けた計画の改定に係る協議を、引き続き国と行っていく。
・ C I Q設備の高度化についても、NABCOや国と連携して整備促進し、更なる機能強化を図っていく。